

第3回高度情報セキュリティ実践講座の報告

2006年11月13日

NPO法人電子自治体アドバイザークラブ

第3回 高度情報セキュリティ実践講座の概要

日時: 平成18年11月13日(月) 受付:13:00 ~ 13:30 講座:13:30 ~ 16:50

会場: 奈良県中小企業会館 中会議室 (奈良近鉄駅 番出口より、徒歩1分)

参加者: 32名 内訳:自治体関係者 8名、企業関係者 14名、一般 10名

講演 - 1:サイバー犯罪の現場から~もし攻撃を受けたら~ 13:30 ~ 15:00

奈良県警察本部サイバー犯罪対策室長 吉川昌宏氏

【概要】

今日、組織においてインターネットの活用は必要不可欠になっています。しかし、その陰でサイバー犯罪の脅威はますます増加しています。特にネットワークやサーバの管理の甘さがサイバー犯罪の被害を受ける原因になることがあります。ひとたび、管理不備により被害が及べば、社会的信用が失われ、大きな損失を被ることになります。・サイバー犯罪の発生状況、・サイバー犯罪の現状と課題、・管理者に求められる情報セキュリティ対策、・警察のサイバー犯罪対策について紹介します。



【講師のプロフィール】

奈良県警察本部 警視
・昭和55年4月:近畿管区
警察局通信部入庁(警察庁
技官)
・平成14年4月:大阪府通
信部技術指導係長
・平成16年4月:滋賀県情
報通信部課長補佐
・平成18年3月:奈良県警
察生活安全部生活安全企
画課 サイバー犯罪対策室
長

講演 - 2: 情報セキュリティガバナンスへの取り組み

15:10 ~ 16:40

富士通株式会社 セキュリティソリューション本部 セキュリティサービス統括部
インテグレーション部 プロジェクト課長 白石節男氏

【概要】 セキュリティガバナンスへの取り組み～情報セキュリティの運用・管理の実践
情報セキュリティを取り巻く環境として、情報セキュリティガバナンスとは何かとセキュリティインシ
デント状況の紹介。富士通(株)の取り組みのご紹介、富士通(株)セキュリティソリューションのご紹介



【講師のプロフィール】

富士通(株) セキュリティソリューション本部 セキュリティサービス統括部インテグレーション部 において、ウィルス対策サービス、ファイアウォール監視サービス等のセキュリティ運用サービスの企画・開発を担当。近年は、セキュリティ対策システム全般のインテグレーションを実践している。

所感

1. 講演 - 1: サイバー犯罪の現場から～もし攻撃を受けたら～(奈良県警察本部 吉川昌宏氏)
サイバー犯罪の現状(検挙件数、相談件数)、不正アクセス行為の発生状況、インターネットの治安情勢、データ漏洩の現状、警察の取組についての説明であった。不正アクセス行為後の行動については、インターネット・オークションに関する不正操作が最も多く(18年上期、312件)、オンラインゲームの不正操作、インターネットバンキングの不正送金・不正出金と続く。不正アクセス行為に係る犯行の手口については、利用権者のパスワードの設定・管理の甘さにつけこんだものが最も多く、次いで、フィッシングサイトにより入手したものがあつた。注意しなければならないものとして、識別符号を知りうる立場にあつた元従業員や知人等によるものが、増えていることである。これらの防御上の留意事項についての説明があつた。インターネットの治安情勢については、ボットネット、DoS攻撃、スパイウェアの実態、および注意事項、データ漏洩の現状、特に無線LANにおける問題点・注意事項について、特にAPの設定状況、暗号化の取組の重要性について解説された。警察の立場でこれらを分析し、警察による捜査、ネットパトロールの取組について、説明があつた。

2. 講演 - 2: 情報セキュリティガバナンスへの取り組み (富士通株式会社 白石節男氏)
情報セキュリティを取り巻く環境、情報セキュリティガバナンス、富士通の取組、セキュリティソリューションのご紹介、セキュリティ統制ソリューション適用例、情報漏洩対策サービス敵用例、について実践的な説明があつた。情報セキュリティの視点は、「技術」中心から「マネジメント」重視、「予防

偏重社会」から「事故前提社会」、「情報セキュリティの問題」から「経営者の問題」へと変化して、情報セキュリティガバナンスの実現へと進化している。米国 SOX 法、日本版 SOX 法が成立して機能が強化されて、セキュリティ問題の解決策が示されている。これらを踏まえて、富士通(株)のセキュリティソリューション、情報セキュリティガバナンスへの対応方針について説明があった。富士通(株)が提案するセキュリティ統制ソリューション適用例として、アイデンティティ・マネージメント、統合 ID 管理システム、アクセスコントロール、証跡管理、などの説明があった。企業や地方自治体において、トップダウンの取組が必要であるが、社員や職員への啓蒙活動や、危機意識の涵養が重要である。資金がないからできないというレベルの話ではなくなってくると感じた。

講演会の風景





第4回高度情報セキュリティ実践講座にも、ぜひ、ご参加ください。

予定日：12月6日(水)、 受付：13:00～13:30 講座：13:30～16:50

会場：奈良市北部会館 3階 多目的会議室1 (近鉄高の原駅から徒歩5分)

講演 - 1: 企業における情報セキュリティ確保に向けた政府の取組

経済産業省 情報セキュリティ政策室課長補佐 村野正泰氏

講演 - 2: 情報セキュリティ監査について

NTT 西日本(株) ソリューション営業本部 柚木勝博氏

【共催】: 帝塚山大学 経営情報学部 高瀬研究室
NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)
(<http://e-aac.naist.jp/e-AAC/>)

【後援】: 近畿経済産業局、奈良県、奈良県市長会、奈良県町村会、
奈良県中小企業支援センター

【協力団体】: 奈良県警、帝塚山大学、奈良先端技術大学院大学、富士通(株)
NTT 西日本(株)、日本電気(株)、近鉄ケーブルネットワーク(株)